

利用児者・ご家族様
支援者・関係者・職員様

令和4年5月26日
社会福祉法人 ひかりの家
理事長 大南友幸

新型コロナウイルス感染症陽性者発生にかかわる対応

日頃から、ひかりっこの療育・保育に参加・協力・業務にあたっていただき、ありがとうございます。

利用児・家族・職員のみなさまに多大なご迷惑とご心配をおかけしたこと、心よりお詫び申しあげます。また発熱・体調不良でコロナ陽性となられた方には、慎んでお見舞い申し上げます。みなさんの体調が回復し、いつもの笑顔で再開できることを祈っております。そして今日(5/26)から、保育を再開することができたのは、利用児・家族・職員みなさまの協力のおかげです。深く感謝いたします。

さて、経過についてです。2022年5月18日(水)に法人関係者から新型コロナウイルス感染症陽性判定を受けた旨の報告がありました。当該者は、日頃から事業所内ではマスクを着用し、感染拡大の予防に努めておりました。すみやかに保健所・行政機関への報告と濃厚接触者の判定を行いました。「マスクなし、1m以内、15分以上」というチェックポイントで判定したところ、「濃厚接触者はなし」と推定されました。しかし、濃厚接触の疑いが残ることから、同日午後からの保育を直ちに休止し臨時休園としました。

当初、保育を5月23日から再開する予定でしたが、5月20日から23日にかけて、複数の陽性者の報告(合計14名)が相次ぎ、「集団感染」と言える状態になりました。そのため、あらためて保健所の指導を仰ぎ、「オミクロン株の場合1週間の間隔をあけてください」とのアドバイスを受けました。これを受けて5月25日まで休園し26日から保育再開の方針に変更しました。この間も、健康な職員で業務にあたり、利用児・家族・職員の健康確認と心配事相談を続けました。また、保健所、愛知県、刈谷市への報告・相談も継続してまいりました。

ひかりっこを含め障害児者支援を行う事業所は、「利用児者・家族・職員の健康と安全を守る」という、大きな社会的責務を負っていると自覚しております。今回このような事態になり、その責務を果たしきれなかったことは、痛恨の極みでもあります。この経験を糧に、コロナ感染症拡大防止策を今一度見直し、より一層安心安全で、質の高い保育を目指す所存です。本人・家族・職員のそれぞれの立場から、力をお寄せいただければ幸いです。

当面の方針ですが、コロナ感染症は飛沫感染、接触感染が原因とされております。あらためて、**①**室内でのマスクの着用。**②**うがい、手洗い、換気の励行。**③**複数人が触る設備・器具等の消毒。**④**三密の回避。を心がけ、集団感染を防止するよう配慮します。なお、いろいろな理由で困難なお子さんは、できる範囲で取り組みれば大丈夫です。また体調のセルフチェックを毎朝行い、風邪様症状あるいは37.5℃以上の場合は、利用・出勤を自粛していただくこともご判断ください。

今後も、ひかりっことして・法人として保健所および行政機関と連携し、感染拡大を予防するために適切な対応を図ってまいります。